

平成27年6月11日
中部地方整備局

名古屋港で干潟学習講座を開催します

～なごや環境大学 共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」第1回～

1. 概要 :

伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会（仮称）（※別紙-1参照）では、なごや環境大学共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」の1回目（全5回）の講座として、愛知県名古屋市港区の藤前活動センターにおいて「名古屋港の干潟の現状と役割について学ぶ」講座を開催します。

本講座では、20名程度の参加者（東海三県在住の小学生とその保護者など）が藤前干潟の生き物調査を体験し、伊勢湾の環境と干潟の役割について学びます。

表 なごや環境大学 共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」スケジュール

回	日程	タイトル	会場
1	6月14日（日）	伊勢湾の環境と干潟の役割を学ぶ	藤前活動センター
2	7月5日（日）	三河湾の海と生き物を体感する	ラグーナテンボス
3	7月26日（日）	三重の浜は宝の浜	伊勢湾海洋スポーツセンター
4	8月7日（金）	名古屋港の水質を調べ、 名古屋港から海を見る	国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所
5	9月5日（土）	伊勢湾の漁業を知ろう	調整中（名古屋市内予定）

（講座概要）

一般市民を対象として、生物観察（1回目：藤前干潟（名古屋市）、2回目：三河湾（蒲郡市）、3回目：阿漕が浦海岸（津市））や漁業学習（5回目）などを通じて海を身近に感じていただくとともに、水質調査を体験（4回目）することで水環境の現状を知っていただくこと等を通して、伊勢湾（三河湾）の環境改善に向けて、市民一人一人がみんなで出来ることについて考えていきます。

2. 日時・場所 : 平成27年6月14日（日） 9:30～14:00
藤前活動センター（愛知県名古屋市港区藤前2-202）

3. 配付先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、岐阜県政者クラブ、三重県政記者クラブ、豊橋市政記者クラブ、碧南市政記者クラブ、半田記者クラブ、蒲郡記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先 : 伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会（仮称）
国土交通省中部地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課
課長補佐 武田 久二 TEL: 052-209-6329



伊勢湾再生海域検討会

平成19年3月に策定された「伊勢湾再生行動計画」における海域での施策を検討するため設置された組織で学識経験者、専門家、市民・NPOなどにより構成されています。平成20年3月には、「伊勢湾再生海域推進プログラム」を策定し、以下のシナリオに基づいた取り組みを実施しています。

1. 貧酸素水塊の抑制と生物資源量の回復
2. 地産地消運動
3. ごみの少ない海の再生
4. 環境学習の実施
5. 人と海の結びつきを強化するための広報・PR

環境活動実行委員会(仮称)

上記シナリオのうち、4. 環境学習の実施について、なごや環境大学 共育講座を活用した環境活動をおこなうため設置され、平成25年度からは「伊勢湾の水環境について考えよう」を開設し、同共育講座の企画運営にあたっています。

平成26年度 1回目(6月29日)の講座の様子



藤前干潟での生き物観察



生き物の分類分けと結果分析